

紅ミュージアム展示案内

「126年前の小間物寿語録から 化粧品を見てみよう」

2023年8月8日(火)～9月9日(土)

紅ミュージアムの博物館実習生によるテーマ展示「126年前の小間物寿語録から化粧品を見てみよう」を、2023年8月8日(火)～9月9日(土)の期間で開催いたします。



博物館実習生によるテーマ展示

126年前の
小間物寿語録から
化粧品を見てみよう

2023年
8月8日(火)
9月9日(土)

【開館時間】 10:00-17:00
(入館は16:30まで)
【休館日】 日・月曜日
【入館料】 無料
【協力】 アダチヨシオコレクション
※常設展示室の一部で行うミニ展示です。

〒107-0062
東京都港区南青山 6-6-20
K's 南青山ビル 1F
TEL 03-5467-3735
紅ミュージアム

※館内撮影禁止
ご来館の際は、館内
webサイトをご覧ください。

すごろくはサイコロを振り、出た目によってコマを進め、上りの区画に早く入った者を勝ちとする盤上遊戯(ボードゲーム)です。かつては、家庭でできる娯楽として子どもたちの遊びの定番でした。

「東化粧美人寿語録(あずまけしょうびじんすごろく)」とは、明治時代に東京の小間物組合が創刊した機関紙『東京小間物商報』の明治30年(1897)1月5日号の付録で、小説家の骨皮道人が考案し、挿画を小林清親が描きました。この二人は、明治27年(1894)から刊行した『日本萬歳百撰百笑』でもタッグを組んでいます。

明治中期という時代は、国内の化粧品製造者の数も増え、西洋の進んだ科学技術を学び、品質の向上に努めた時期です。本すごろくは当時の化粧品業界の品揃えと繁盛を、親しみを込めコミカルに描いています。化粧品が近代化されていく有り様と業界周辺の雰囲気を目でできる興味深い資料です。

[テーマ展示は、常設展示室内の一部で行うミニ展示です]

博物館実習生によるテーマ展示

「126年前の小間物寿語録から化粧品を見てみよう」

展示期間：2023年8月8日(火)～9月9日(土)

開館時間：10:00～17:00(最終入館は16:30まで)

休館日：日・月曜日 / 観覧料：無料

協力：アダチヨシオコレクション

※ご来館前に当館のwebサイトにて最新の開館情報をご確認ください。

<https://www.isehanhonten.co.jp/museum/>

この件に関するお問い合わせ先 株式会社伊勢半本店 PR担当 mail@isehan.co.jp

お客様お問い合わせ先 紅ミュージアム(火～土曜日 10:00～17:00)

〒107-0062 東京都港区南青山 6-6-20 K's 南青山ビル 1F TEL 03-5467-3735

株式会社 伊勢半本店